

令和4年12月20日 佐藤

～ 2023年がより良い年になるように。宝舟が『福』を運びます ～

「隅田川七福神 宝舟」準備の真っ只中

都内でも有数の七福神めぐりとして知られ、新年には多くの参拝客で賑わう「隅田川七福神めぐり」。隅田川七福神が参拝者の幸せを願う気持ちに込めてきた歴史をふまえ、来年も元旦から7日まで開帳されます。

12月中旬から、この七福神を祀る墨田区内の各寺社などでは、御分体（ごぶんたい＝御神体の分身で高さ約4～5cmの黒い陶器製のもの）を乗せるための「隅田川七福神 宝舟」の準備が始まっています。隅田川七福神のうち、「寿老神」を祀る白鬚神社（宮司：今井 達（いまい いたる））では、緋色の袴を身に着けた巫女が製作にあたっています。「宝舟」を作る一連の工程は、すべて手作業で行われ、巫女たちは丁寧にかつ手際よく「宝舟」を仕上げていました。

この「宝舟」は、長さ約20cm、幅約8cm、高さ約3cmの白い陶器製で、かつて隅田川を往来していた舟を模しています。舟の中央には、新年の雑煮箸として用いられる「柳箸（やなぎばし）」で作られた高さ約15cmの帆柱が立てられ、そこに朱色で「寶」と押印された祝儀を包む「奉書」でできた帆が「そっくい（米粒をつぶした糊）」で貼り付けられています。さらに帆柱の頂点からは、船首と船尾に向かってウコンで黄色く染められた凧糸の帆網が張られており、縁起の良い品を使って作られています。

「隅田川七福神めぐり」の期間中、七福神を祀る6寺社などで授与されるものが「隅田川七福神宝舟」です。隅田川七福神めぐりでは、各寺社などでそれぞれの福神の御分体（各500円）を頒布しており、それらすべてを各寺社などで求め、宝舟（1艘1,500円）に乗せて玄関や神棚、仏壇などに飾ると「福がくる」と古くから言い伝えられています。毎年、「縁起の宝舟」として、御分体と一緒に購入する参拝者が多くいます。

白鬚神社では、大晦日の夜に、作り終えた「宝舟」と「御分体」を神前に供え、お祓いを行う「清祓式（きよばらいしき）」を行い、その後、元旦の午前零時から、各寺社などで頒布が開始されます。

《写真》 「隅田川七福神宝舟」づくりの様子



《問合せ》 白鬚神社 宮司 今井 達 03-3611-2750

お問合せは、午後5時までお願いいたします。（広報広聴担当 03-5608-6220）

《参考》 コロナ対策 安心安全な参拝のお願い

白鬚神社では年末年始に参拝する方々が、安心して参詣できるように安全対策を講じています。神職・巫女等もマスクを着用し、施設内の消毒等に努めています。

1 境内

境内ではマスクを着用し、大声での会話は避けてください。また境内での飲食喫煙等は、マスクを

外すこととなりますので、ご遠慮ください。

2 手水

接触感染予防のため、柄杓を撤去していますので、流水にてお清めください

3 参拝

神前に並ぶ際は、マスクを着用し距離をとることを心掛けてください。神前の鈴緒は感染予防のため取り外していますので、鈴を鳴らさずご参拝ください。

4 祈願

昇殿参拝祈願は通常通りおこないますが、発熱や軽度であっても咳・咽頭痛・倦怠感のある方はご遠慮ください。昇殿に際しては、手指の消毒にご協力ください。社殿内は喚起のため、戸を開けていますので、コート類は着用のままご参列ください。直会（神酒拝戴）は取りやめます。

5 御朱印

正月期間中は、朱印帳への直接揮毫を取り止め、事前に揮毫した朱印紙を授与します。なお、隅田川七福神の色紙には、直接揮毫します。

6 授与所

巫女など奉仕従事者の前に、仕切り（ビニール幕）を設けることをご了承ください。密集状態にならぬよう、順序良くお求めください。

7 おみくじ

手指の消毒にご協力をお願いいたします。

直接手を触れない「QRコード利用自動おみくじ」もあります。

8 参拝時間

寺社などの従事者の健康管理及び警備の都合上、早朝・夜間のご参拝はお控えください。